



東京都あきる野市



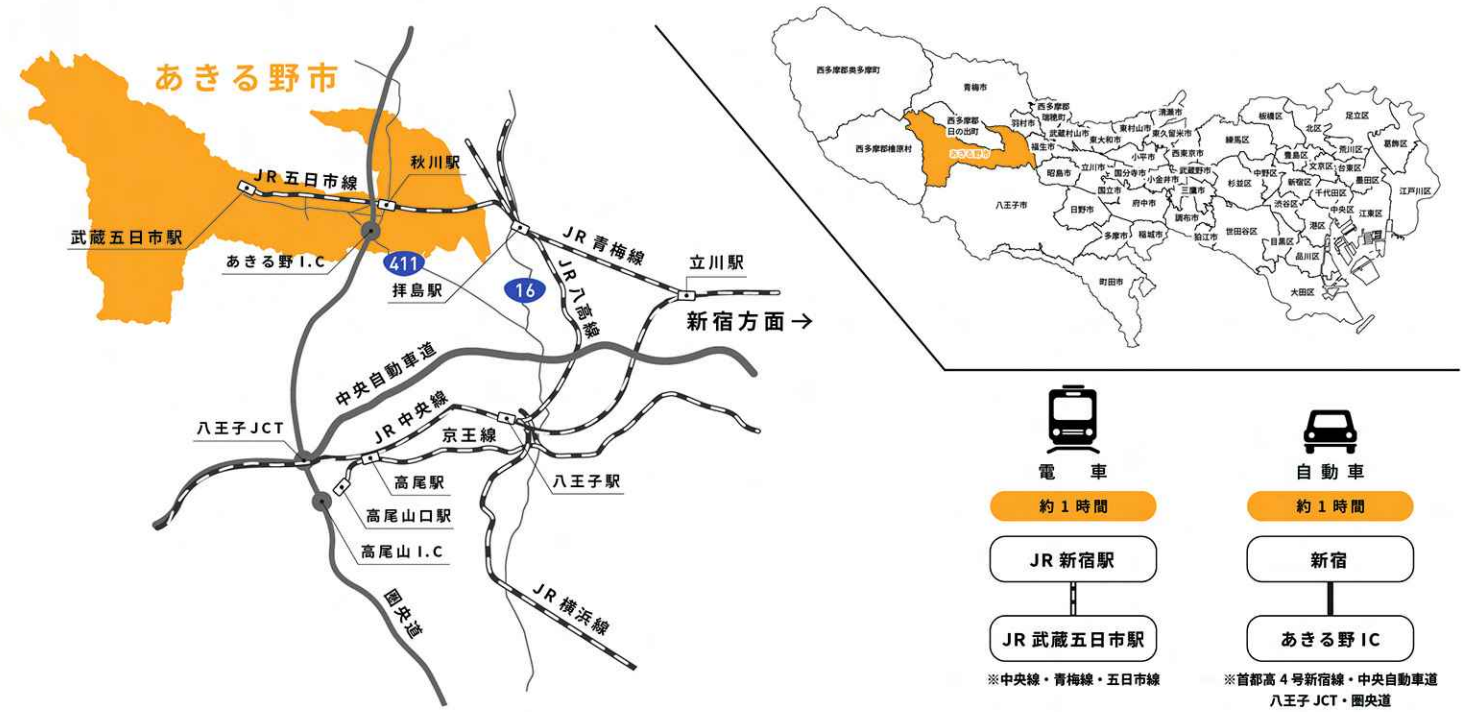
森林環境譲与税

使いみちを提案させていただきます！

あきる野市森林環境譲与税支援機構

TOKYO AKIRUNO

あきる野市は、市域の約6割を占める森林と、川遊びや鮎釣りでも知られている秋川渓谷が創り出した豊かな自然環境に恵まれた街です。森林はきれいな空気や水を生み出すとともに、癒しと安らぎを与える効果もあり、都民の皆さまにとっても、かけがえのない大切な資源であると言えます。この資源を未来に向けて健全に維持していくためには、間伐などの森林整備や木材利用による森林の循環が必要となります。森林から受ける様々な恵みを身近に感じていただき、この自然環境を皆で支え合うことで、都民の皆さまの豊かな暮らしを実現していきたいと考えています。



あきる野市 春の石舟橋

森林環境譲与税を 都民（地域の人）に還元するには？

国の制度として新たに森林環境譲与税が創設されたことにより、各自治体では以下のようなことを考える必要が出てきました。

森林のない都内の自治体

森林環境譲与税は、「間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用」に使うことができるものとされています。森林のない自治体の多くでは、この税の使いみちに悩まれているところもあるとお聞きしております。森林には水源涵養や地球温暖化防止などの様々な機能があり、そこで育った木材を利用することで森林が循環（植える・育てる・伐る・使う）され、健全な森林が増えることにより、都民の皆さまの豊かな暮らしにつながります。

わたしたちの役割

当団体は「東京の木で都民の暮らしを豊かにする」ことをコンセプトに、木材事業者（民間企業）とあきる野市（行政）との連携によって、この税の使いみちをコーディネートする組織です。あきる野市は、東京都の木材ブランドである多摩産材の産地にもなっていることから、都内の自治体の皆さまと連携することにより、広く木を活かしたまちづくりを実現していきたいと考えています。

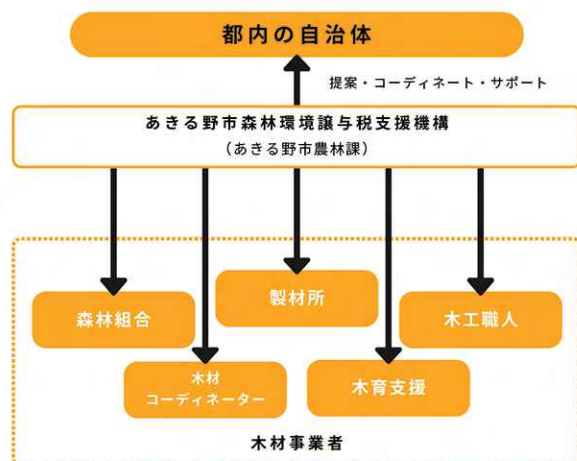
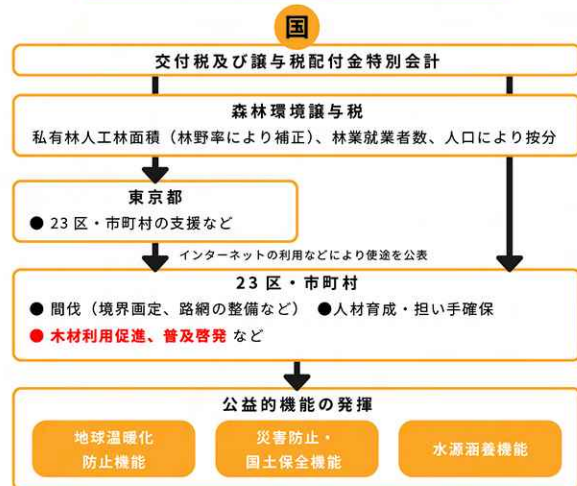
ご提案からの流れ

当団体より、この税の使いみちを提案させていただきます。皆さまの自治体における使いみち、あり方についてどのように検討されているのか、ディスカッションさせていただき、各自治体にとって適切なプランを、一緒に考えます。たとえば、多摩産材を使用した家具・什器などのモノづくりから、子どもの教育・学びという分野における木育ワークショップ、コト消費などのプログラムの実施も可能です。また、本格的な森林整備や木材事業者の工場視察なども案内できますので、まずはお気軽にお問い合わせください。

例 1



森林環境譲与税の制度設計イメージ



市内小学校の授業における 多摩産材・森林環境教育

各自治体や学校からご相談をいただき、出前授業やエコツアーを実施しました。ご希望によりツアーをカスタマイズすることも可能です。

多摩産材を若い世代へ

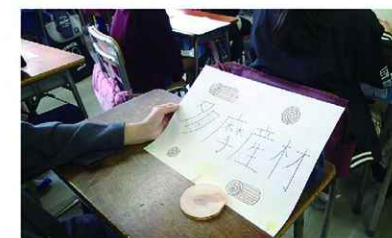
あきる野市では2019年、市内で林業や製材業など木材事業に携わる民間企業5社と森林環境譲与税の活用提案を行う団体（＝あきる野市森林環境譲与税支援機構）が結成。「東京の木で都民の暮らしを豊かにする」をコンセプトに、この税の使いみちをコーディネートする活動を開始しました。多摩産材が生まれ出る地域として、広く多摩産材の活用を都民の皆さまへ届ける役割を担っています。



あきる野市 市章

多摩産材出前授業

小学校5年生を対象に、社会の授業で習う授業内容の補完として、林業や製材業の役割や森林機能を説明し、日本や東京の森について情報共有をしながら、東京の木多摩産材を「知って、気づいて、選んでもらう」授業を行います。授業の際には、多摩産材端材を学校へ提供し、図工や社会、理科などの授業での活用を提案します。また、端材を見ながら年輪や枝打ち、節の話を変えることで、木材への興味を広げる工夫を行います。なお、小学校の図工材料はもちろん、中学校の技術・家庭及び美術教材用の提案も同時に実施し、多摩産材出前授業に合わせたセットも対応可能です。



多摩産材の森エコツアー

多摩産材の森に触れ、原木市場や製材所などを巡るツアーによって、東京の木のストーリーを感じられるツアーです。都心から約1時間で到着できる森では、里山に近い東京の森ならではの森林体験や、間伐作業の見学などカスタマイズで対応でき、学校教育はもちろん、各自治体の行政施設への多摩産材活用に対する住民への理解を深めるのにも有効です。場合によっては、各自治体の観光協会とタイアップすることで、企画やガイド以外にも、手配やスケジュール管理なども行いますので、新たな手間を掛けることなく実施することができます。



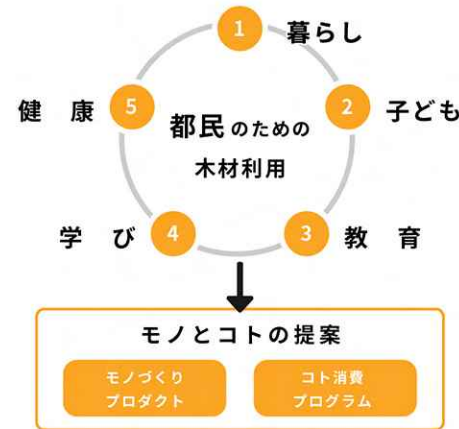
モノとコトを提案します！

当団体は、森林組合・製材所・木工所・木材コーディネーターによって構成されています。木材活用に関する事業を幅広く実施することができます。

木材利用促進のための5つの目的

森林のない自治体では「木材利用」が一つの使いみちとなります。当団体では「東京の木で都民の暮らしを豊かにする」というコンセプトを掲げ、暮らし・子ども・教育・学び・健康というキーワードに沿った木材利用をすすめています。さらにそれぞれの分野からモノづくり・コト消費という分かりやすいプログラムを定めて、都民の皆さまに、東京の森林を、木を身近に感じてもらえるような木材利用を目指します。

当団体のコンセプト



モノづくり



『教育施設の木質化』

2 子ども 3 教育 4 学び

教育施設の内装、玩具、什器などを多摩産材で作ります。木の香りに包まれた快適で落ち着いた空間になります。



『コミュニティスペースのリニューアル』

1 暮らし 5 健康

地域内の憩いのスペースのリニューアルや家具の製作も可能です。街のシンボルとして人の集まる場所へと生まれ変わります。

コト消費



『木育イベントの開催』

2 子ども 3 教育 4 学び

教育の一環として、多摩産材に触れて感じることのできる木育イベントを開催します。丸太切りや、枝葉を使ったワークショップなどがあります。



『多摩産材をめぐるエコツアー』

3 教育 4 学び

あきる野市内の製材所を巡り、大人から子どもまで暮らしの中の多摩産材について学習する機会をつくれます。ガイドツアーの企画も実施します。



製材所を有する木材組合

当組合は多摩産材認証制度、国際森林認証制度など持続循環可能な森林計画から産出された東京都産材を製造過程も見学しながら製品としてご提供することができます。建物の構造材や壁や床の内装材など具体的な活用はもちろん、企業や団体、一般消費者向けに学びに繋げるエコツアーも随時開催中です。

モノ



『具体的な活用実例が豊富』

大規模から小規模の公共施設の構造材や内装・外装材、什器や家具など、これまで様々な採用実績があります。

モノ



『細かな注文まで製材対応可能』

製材機を有する当組合だからこそ、規格品から特注品まで、あらゆるご要望にお応えします。工場の視察ツアーも受け入れています。

コト



『多摩産材に触れるエコツアー』

多摩産材の森に触れ、原木市場や製材所を巡るツアーによって、東京の木を知り、選ぶ機会を作ります。企画運営はお任せください。

コト



『技術・家庭教材用工作キット』

東京の森の学びと合わせて学習できる多摩産材を活用したキットを販売します。内容は学年や年齢に合わせてご相談も可能です。

秋川木材協同組合

〒190-0163
東京都あきる野市館谷 223-10

☎ 042 596 0037

✉ info@akigawamokuzai.or.jp

🌐 http://akigawamokuzai.or.jp



高濱 謙一
(事務局長)

都内から日帰りでお越しいただける好立地な環境で、具体的な活用事例を元に皆さまと共に考えさせていただきます。東京の森を活用することで、都民の暮らしに様々な面で還元することを目指します。

秋川木材協同組合 「製材所組合」

設立72周年を迎えた当組合は、秋川溪谷周辺に位置するあきる野市・檜原村・日の出町の林業・製材業者15社で組織された、多摩産材を取り扱う唯一の木材協同組合です。

森林は私たちの暮らしを支えています。森林は木材生産の場だけでなく、水や空気を育み、私たちが動物の生息環境を守ってくれる大切な財産なのです。



東京の森林の管理を担う

意外にも東京都の面積の4割弱が森林です。その多摩地域の森林に先人の人々が苗木を背負い、険しい山々にスギやヒノキを植林して守り育ててきました。こうした努力によって東京都の森林面積の約6割が植林地となっています。東京都森林組合では、その森林で、植林、保育、木材の収穫、木材利用までの森林循環が図られる業務を一貫して行っております。

モノ



『ノベルティ・オフィス什器』

森林整備による搬出材、原木市場の丸太、市街地の伐採木など、多摩産材を中心に製材・加工を行い、木製品を製作いたします。

モノ



『公共設備の木質化』

東京の木多摩産材を使い、木工品から屋内・屋外の木質化まで、ご要望に応じた様々な製品に加工し皆さまへお届けいたします。



つくる・つかう・つなぐ

戦後の植林から半世紀ほどが経ち、利用するには十分な太さに達した木が多いにもかかわらず眠っている現状を憂いて、あきる野市の3事業所が中心になりグループ化しました。多摩の木をつかい、私たちは「多摩産材」による木工製品などの製作を行っています。職人集団のあきがわ木工連では、多摩産材の普及・啓発に努めています。

モノ



『保育学校什器・家具製作・設営』

100%多摩産材を利用したオリジナルデザインを重視した、提案型で製作、施工を行います。小さい物はおもちゃでも可能です。

モノ



『施設空間什器・家具製作・設営』

設計事務所やメーカーと共に、空間を構成する什器等の別注型対応で設営、施工まで行います。(*写真は多摩モノレール駅構内ベンチ)

コト



『森林整備の施業提案』

森林を所有する市町村との森林整備協定をご検討の場合、対象となる森林を調査の上、森林整備の計画を作成し施業提案をいたします。

コト



『森林整備作業～素材生産』

整備計画に基づき間伐などの森林整備作業を行うほか、木材利用に適した森林においては素材生産（木材の伐採・搬出）を実施します。

コト



『木育・木塾セミナー・イベント開催』

主に子どもたちの社会環境を意識し、親子、保育士などを対象に木工連独自の木育理論を「キトコト60」で開催します。

コト



『モノ作り体験ワークショップ開催』

『パパなら子どもの椅子ぐらいいつくらう!』『保育士なら積み木ぐらいいつくらう!』が基本方針で「キトコト60」で実施しています。

東京都森林組合

〒190-0182
東京都西多摩郡日の出町平井 2759

☎ 042 588 7963
✉ info@tokyo-sinrin.com
🌐 http://www.tokyo-sinrin.com/



木村 康雄
(代表理事組合長)

森林整備は進んでおりますが、森林環境譲与税の仕組みを利用し、川上の森林から川中の木材加工、川下の消費者まで、三位一体で、これまで以上に多摩産材を有効に活用できる森づくりを期待しております。

一般社団法人多摩産材活用あきがわ木工連

〒190-0171
東京都あきる野市養沢 849

☎ 042 519 9343
✉ info@mokkouren.com
🌐 https://mokkouren.com/



佐藤 眞富
(代表理事)

多摩の木、地域の技術にこだわり、木工業を軸にした活動を展開しています。特注家具や店舗、施設用什器の制作や、家具木工品のリメイクなど、山と街、職人とユーザーをつないでいます。

家具、什器、建具などをオリジナルデザインを元に製作、開発している木工業者の団体です。木の持つ本来の力を、東京の子どもたちや社会環境へと活動を広めてまいります。



木の相談窓口・木のコンシェルジュ

「こんな木製品（木育活動など）を考えているがどこに相談したら良いのか分からない」といったお客様はたくさんいらっしゃいます。そんな皆さまの相談窓口として「木のコンシェルジュ・kitokito」があります。木製品などを考えたらまずはお相談ください。欲しい物がある場合も、漠然としていることの相談でも構いません。皆さまの想いを形にするお手伝いをいたします。

モノ



『福祉作業所での木製品づくり』

就労継続支援 B 型作業所を運営しております。ノベルティグッズなど小物製品を得意とし、クオリティーの高い製品をお届けいたします。

モノ



『外部木製品』

外部の木製品は敬遠しがちですが、遊具、看板、ベンチなど、お客様のニーズに合わせてご相談承ります。

モノ



『木曾生活研究所』

「日本の歴史を作った森」と称される自然を持つ長野県木曾地方において、伝統的な職人技を生かした木製品ブランド。

コト



『地域とのワークショップ』

武蔵小杉のKosugi 3rd Avenue LABOにて、小物入れやおもちゃ箱になる杉の木ボックスをつくるD.I.Yワークショップを開催。

モノ



『既存製品の木質化』

什器や保育家具などの製作はもちろんのこと、元々ある製品を無垢材と無垢のシートを駆使して木質化することも可能です。

コト



『木育活動』

子どもたちはもちろん、都民の皆さまに東京にも山があり、木材があることを知っていただき、身近に感じていただく活動も行なっております。

コト



『保育園でのワークショップ』

都内にある保育園さんの園舎建て替えに伴い伐採された桜の木を使って、接ぎ木のワークショップを開催。

モノ



『キッズスペース(京王あそびの森 HUGHUG)』

遊具類はもちろん、床と腰壁にも多摩産材のひのきと杉をふんだんに使用した木質空間。

人と木を結び、人・街・環境に優しい木材を使いやすい、欲しい形に変えてお届けします。そして、森林の役割や重要性、日本の大切な循環資源であることを伝えていく活動も行っております。

木からはじまる物語。木を通じて森を知り、自然と共に生きやすい社会をつくりたい。

一般社団法人 kitokito

〒193-0801
東京都八王子市川口町 961-6

☎ 042 659 0844
✉ kitokito@kitokito.org
🌐 https://kitokito.org/



野口 省子
(代表理事)

弊社の福祉作業所での製品作りは元より、地元の業者や全国の技術ある方々と連携し、お客様のご要望に応える努力を惜しみません。皆さまと一緒に木材利用を通して人に環境にやさしい社会づくりに貢献してまいります。

株式会社 Tree to Green

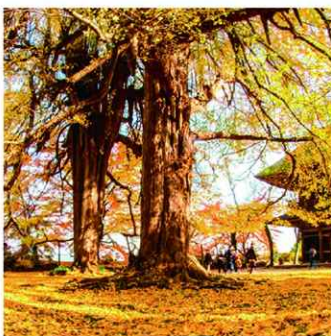
151-0064
東京都渋谷区上原 1-30-2 野村ハウス 2 階

☎ 03 6447 4770
✉ info@treetogreen.com
🌐 https://treetogreen.com



青野 裕介
(代表取締役)

木質化内装事業においては、デザイナーとの連携、緻密な工事管理によって、高い品質を実現してきました。体験事業においては、木の良さを伝える木工ワークショップなどを全国各地で実践しています。



秋川溪谷



森っこサンちゃん

あきる野市 イメージキャラクター

あきる野市森林環境譲与税支援機構

東京都の森林・林業・木材産業は都民の暮らしを支える大切な資源です。森林環境譲与税の譲与先は、都民の皆さまにとって一番身近な区や市町村であり、本書では東京都の各自治体の方々と一緒に税のあり方、使い方について考えるきっかけにしていきたいと考えております。

発行日 令和5年3月31日

発行 あきる野市森林環境譲与税支援機構

問合せ先 あきる野市環境農林部農林課林務係

東京都あきる野市二宮 350 番地

042-558-1111 (内線: 2524-5)

制作 株式会社森未来